

右の新聞記事(2020年1月5日掲載)を読んで、問いに答えましょう。

①記事の□(空欄)に入る「図書館で貸し出した袋」の名前を書きなさい。

--

②中身が見えない袋に本を入れ、選ぶという貸し出し方法は図書館に来る人にとってどのような良いことがあるか。記事の内容を読み取って25字以内で書きなさい(句読点を含む)。

③「記事にあるような貸し出し方法で本を借りて読むこと」は、「新聞を読むこと」と共通点がある。この共通点を読者の立場から考え、あなたの考えを30字以上60字以内で書きなさい(句読点を含む)。※3行目から4行目まで入るように書くこと。

年 組 名前



福ぶつくろを選ぶ来館者＝焼津市立大井川図書館

どんな本かな
開封ワクワク

焼津、大井川図書館で「

--

職員お薦め2冊貸し出し
焼津市の焼津、大井川両図書館で4日、図書館職員お薦めのブック(本を福袋に詰めた「福ぶつくろ」の貸し出しが始まった。
中身が見えない袋に入浴「などがテーマの本が2冊ずつ入っている。袋が並んでいる。小学生、幼児用は絵本や児童書が中心。来館者が選ぶ仕組み。ヤング・アダルト、ティーンズ、小学生、幼児の各世代別に用意した。
大井川図書館では、借りられる機会は少ないが職員一推しの小説のほか、「大人の女子旅」、「疲れを癒やす」など、貸出数は大井川図書館が40袋、焼津図書館が60袋。なくなり次第終了する。
(焼津支局・尾原宗也)

2020年 1月5日朝刊